

「光ファイバケーブル芯線の賃貸事業について」

当社では近畿・東海2府4県約600キロにわたる鉄道インフラを有効に活用し、高速通信環境の効率的実現に資するため、下記の要領で光ファイバケーブル芯線の賃貸事業を行っております。

1. 特徴

名古屋・大阪間を結び、さらに名古屋鉄道(株)、電源開発(株)等の光ファイバケーブルと接続して、東名阪間のルート構築が可能です。

国際海底ケーブルの主要な陸揚げ拠点である三重県志摩(当社鵜方駅)と大阪、名古屋、京都をダイレクトに結んでいます。

当社上本町駅(大阪市)、西大寺駅(奈良市)、八木駅(奈良県橿原市)の3地点間でループ構成とし、ルートの信頼性を高めることが可能です。

2. 光ファイバケーブルの現況

敷設区間：別紙1のとおりです。各区間に1条のケーブルを敷設しております。

技術仕様：別紙2のとおりです。SM、DSF2種類の光ファイバケーブルを用意しております。

敷設形態：電柱へ架設しております。ただし、高架区間、トンネル区間等ではトラフ(線路沿いの側溝)に収容しております。

空き状況：SMについては、空きがわずかな区間もあります。お問い合わせ下さい。

3. ご利用条件

契約形態：原則10年以上のIRU契約といたします。

賃貸する芯線の単位：

4芯単位とします。(4芯テープ構造のため)

賃料水準：ご利用芯数、距離により異なります。お問い合わせ下さい。

保証金：いたっておりません。

外部との接続：接続地点にお客様所有の接続箱を設置していただき、同接続箱内にて当社の光ファイバケーブルと接続していただきます。なお接続地点までのルートはお客様にご用意いただきます。

中継所：適地があれば当社用地を中継所用地として賃貸いたします。また他の事業者の中継所にコロケーションをご希望のお客様にはご紹介をいたします。

その他：当社の光ファイバケーブル芯線賃貸事業は、電気通信事業者、CATV事業者、自治体、学校及び一般企業等を対象としています。その他詳細については別途協議させていただきます。

4. 問い合わせ窓口

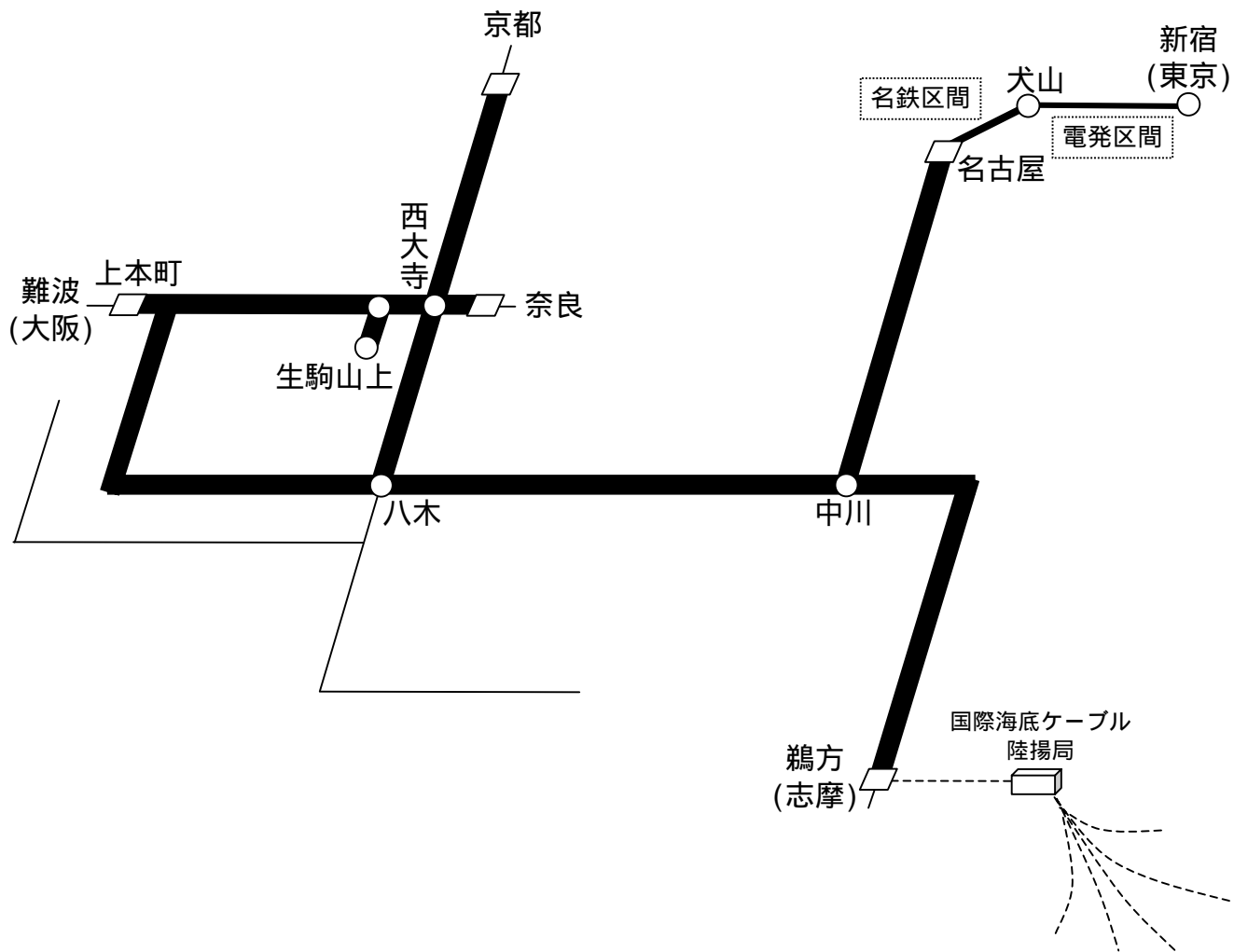
経営企画部(通信担当) TEL 06-6775-3471 FAX 06-6775-3664

E-mail row@rw.kintetsu.co.jp

〒543-8585 大阪市天王寺区上本町6-1-55

以上

ネットワーク図



————— : 当社の光ファイバケーブル敷設区間

技術仕様

光ファイバ素線	伝送特性	ケーブル損失	SM	0.50 dB / km以下 (=1.3 μ m)
			DSF	0.26 dB / km以下 (=1.55 μ m)
		全分散	SM	3.5 ps / nm \cdot km以下 (=1.285~1.330 μ m)
			DSF	3.5 ps / nm \cdot km以下 (=1.525~1.575 μ m)
	形状	モードフィールド径	SM	9.5 μ m \pm 10%
			DSF	8.0 μ m \pm 10%
		クラッド径	SM	125 \pm 2 μ m
			DSF	125 \pm 2 μ m
材料、寸法、強度		JIS C 6835-1991 石英系シングルモード光ファイバ素線の規格を満足するものとする。		

光ケーブル	構造	4芯テープ芯線スロット型ケーブルを使用する。
		防水テープ入り防水型ケーブルを使用する。
	外装	鉄テープあるいはステンレステーブを施した外装のケーブルを使用する。

接続損失	SM区間	最大0.3 dB / 箇所以下 (=1.3 μ m)	両端から測定して得た値の平均値とする。
	DSF区間	最大0.6 dB / 箇所以下 (=1.55 μ m)	
許容損失	SM区間	0.50 L + 0.15 N L : ケーブル長(km) N : 接続点数 (=1.3 μ m)	<ul style="list-style-type: none"> ・コネクタ損失0.5 dB / 箇所は含まないものとする。 ・接続点はケーブル長(km)と同数程度とする。
	DSF区間	0.26 L + 0.11 N L : ケーブル長(km) N : 接続点数 (=1.55 μ m)	